

令和5年概況(確報)

令和5年の鉱工業生産指数は、化学工業、食料品工業などが低下したことから、3年ぶりのマイナスとなった。

生産は低下、出荷、在庫は上昇で推移

○令和5年の主な数値の動向（調査産業計）（令和2年=100）

区 分	原 指 数		
	指 数	前 年 比 (%)	
生 産	108.1	▲1.9	3年ぶりのマイナス
出 荷	106.0	0.6	2年連続のプラス
在 庫	157.8	6.9	6年連続のプラス
在庫率	139.6	10.8	

○総合指数前年比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種（()内は前月比）

<生産>低下：化学工業（▲17.6%）、食料品工業（▲6.7%）

<出荷>上昇：輸送機械工業（10.2%）、情報通信機械工業（35.3%）

<在庫>上昇：化学工業（10.5%）、汎用機械工業（31.4%）

○前年比が最も大きかった業種

<生産>上昇：印刷業（46.8%）／低下：化学工業（▲17.6%）

<出荷>上昇：印刷業（46.8%）／低下：家具製品工業（▲13.5%）

<在庫>上昇：汎用機械工業（31.4%）／低下：その他製品工業（▲47.2%）

○参考 生産指数(総合)の推移

平成31年/令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
108.3	100.0	105.1	110.2	108.1